

「ECOステップせたがや」令和元年度の取組み結果について

1 主 旨

区施設全体の環境負荷低減に向け、環境マネジメントシステム「ECOステップせたがや」（以下、「システム」という）の取組みを行っているが、令和元年度の取組み結果を取りまとめたので報告する。

2 令和元年度の取組み方針と取組み結果

(1) エネルギー削減の取組みについて

取組み方針	取組み結果
<p>地球温暖化対策のため、ソフト・ハードの両面から効果的に省エネを推進する。 区施設全体で平成21年度比14.2%以上のエネルギー使用量削減を目指す。 平成21年度は改正省エネ法による公共施設全体のエネルギー管理初年度</p>	<p>区施設全体のエネルギー使用量は23,309k で、平成21年度比で8.5%、前年度比では401k (1.7%)となった。前年比で減少しているものの、目標には及ばなかった。 区長部局等は平成21年度比で17.8%、教育委員会は8.3%増となっている。 小・中学校児童生徒数・教室数の増加及び4月の低温、8・9月の高温の影響によるものと考えられる。 各施設・職場における日常の省エネルギー行動や設備の運用改善の定着、ESCO事業の実施、照明のLED化などの設備更新等の取組みは引き続き実施されている。</p>

(2) コピー用紙の削減について

取組み方針	取組み結果
<p>区役所全体のコピー用紙購入枚数を令和10年度(2028年度)までに平成29年度比5%以上削減する。</p>	<p>区役所全体のコピー用紙購入枚数は、平成29年度比1.3%、前年度比では1.7%となった。 引き続き効果的な削減手法を検討し、全職場・職員の削減行動の一層の徹底を図る必要がある。</p>

(3) 内部環境監査における事例の水平展開及び環境関連法令の遵守徹底

取組み方針	取組み結果
<p>内部環境監査における優良事項、改善事項を全庁に周知し、環境に配慮した取組みを各職場へ展開するとともに、環境関連法令の徹底遵守を図る。</p>	<p>内部環境監査において、41課及び全小・中学校、幼稚園を対象とした書類監査と、20課及び6校を対象とした現場監査を行った。概ね適切な法令遵守を確認した一方で、産業廃棄物の保管場所の掲示がない「改善事項」が1部署、マニフェストの不備などの「観察事項」が3部署において確認された。 ○「優良取組み事例」を選出し、上位3部署(駒沢小学校、池之上小学校、感染症対策課)への区長表彰及び全庁への周知を行った。 ○環境関連法令の遵守徹底のために、職員向けの研修を行った。</p>

(4) その他の管理項目についての実績

「E C Oステップせたがや」では、区施設全体のエネルギー削減など、年間の取組み方針に掲げた項目以外にも、環境方針のもと事業活動の全ての面での環境負荷低減に取り組み、進捗管理を行っている。これらの実績は以下のとおり。

項目		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和元/30増減
水道使用量(千m <sup>3</sup> )		1,640	1,706	1,685	1,580	6.2%減
廃棄物廃棄量(t)		2,629	2,950	3,303	3,487	5.6%増
リサイクル量(t)		2,147	2,132	2,249	2,187	2.8%減
リサイクル率(%)		44.9	42.0	40.5	38.5	2.0ポイント減
グリーン購入率(%)		98.5	98.8	98.6	97.6	1.0ポイント減
車両用 燃料 購入量	ガソリン購入量(千)	137	147	136	133	2.2%減
	軽油購入量(千)	59	47	59	58	1.7%減
	水素購入量(kg)	-	75.7	73.8	22.2	69.9%減

( ) リサイクル率 = リサイクル量 / (廃棄物廃棄量 + リサイクル量)

(5) 監査、研修など

内部環境監査、環境に良い取組みの水平展開(優良取組み事例の選定・公表)、環境マネジメントシステム研修など、環境配慮のための継続的取組みの推進

(6) その他

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、各種イベントの中止や小・中学校の休校なども各種実績に影響があったと考えられる。

3 令和2年度の取組み方針と具体的取組み

(1) 「E C Oステップせたがや」令和2年度の取組み方針

- <方針1> 地球温暖化対策のため、ソフト・ハードの両面から効果的に省エネを推進し、区施設全体で平成21年度比15.3%以上のエネルギー使用量削減を目指す。
- <方針2> 区役所全体のコピー用紙購入枚数を令和10年度(2028年度)までに平成29年度(2017年度)比5%以上削減する。
- <方針3> システムの透明性及び有効性を高め、今後の改善・発展につなげていくため、事務局及び各職場・施設の運用・取組み状況について、第三者による客観的な評価を受け、これを公表する。

(2) 令和2年度の具体的取組み

平成21年度比15.3%以上のエネルギー使用量削減に向けて

各職場・職員の省エネ行動の一層の定着

E S C O事業(烏山中学校事業開始)

公共施設高効率照明改修

コピー用紙購入枚数削減の目標達成に向けて

セキュアプリント(複合機からの認証印刷)

・概要やコピー用紙削減効果について、全庁への周知啓発を継続して行う

・出先職場等への複合機の導入推進(情報政策課)

タブレットの活用

・環境政策部でのタブレットの活用及び庁内への貸し出しによるペーパーレス化の推進

・貸し出し用タブレットの配置(情報政策課)

各職場で行動計画を策定、実践

- ・各職場におけるコピー用紙増加要因の把握と意識づけ及び改善策の提示による取り組み強化
- 働き方改革によるペーパーレス化の拡充
  - ・本庁舎等整備を見据えたモバイルワークの推進
  - ・政策調整会議等でのペーパーレス会議の継続実施や定期庶務連絡資料の電子化
- 環境マネジメントシステムに関する説明会、研修等での周知啓発
- 内部環境監査における優良な取組みの水平展開
- 紙再生の取組み
  - ・オフィスで発生する古紙を、最新の機器を活用して新たな紙に再生する  
「紙の地産地消」事業の取組みの推進（株世田谷サービス公社による事業）
- 第三者評価の実施及び公表
- 事務局（環境計画課）や各職場・施設を対象とし、第三者による客観的な評価を受ける  
3年に1回の周期で実施
- 結果を公表し、また、有用な提案を活用し改善・発展のための取組みを進めていく。

#### 4 今後のスケジュール（予定）

- 令和2年11月15日 区のおしらせ及び区ホームページに掲載
- 11月中旬 世田谷区環境審議会報告

( 1 ) 区施設全体のエネルギー使用量実績の推移 (平成 21 年度比) (単位 : 原油換算 k )

	21 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	令和元年度
年間目標		10.0%	11.0%	12.0%	13.1%	14.2%
区全体の 年間実績	25,469	22,902	22,828	23,751	23,710	23,309
	(基準年比)	10%	10.4%	6.7%	6.9%	8.5%
	(前年比)	1%	0.3%	4.0%	0.2%	1.7%
区長部局等	16,410	14,124	13,562	13,872	13,781	13,494
	(基準年比)	13.9%	17.4%	15.5%	16.0%	17.8%
	(前年比)	0.3%	4.0%	2.3%	0.7%	2.1%
教育委員会	9,059	8,778	9,266	9,879	9,929	9,815
	(基準年比)	3.1%	2.3%	9.1%	9.6%	8.3%
	(前年比)	4.2%	5.6%	6.6%	0.5%	1.1%
消費 原単位	0.0252	0.0219	0.0217	0.0227	0.0226	0.0219
	(基準年比)	13%	14%	9.9%	10.2%	13%

エネルギー使用量は、電気使用量・ガス使用量などを省エネ法の定めにより原油換算したものの。

( 2 ) コピー用紙購入枚数の推移 (平成 29 年度比)

	29 年度	30 年度	令和元年度
年間実績	1 億 1,400 万枚	1 億 1,444 万枚	1 億 1,248 万枚
	(基準年度比)	+44 万枚 ( +0.4% )	152 万枚 ( 1.3% )
	(前年度比)	+44 万枚 ( +0.4% )	196 万枚 ( 1.7% )
上半期	5,261 万枚	5,154 万枚	5,623 万枚
	(基準年度比)	107 万枚 ( 2.0% )	+362 万枚 ( +6.9% )
	(前年度比)	107 万枚 ( 2.0% )	+469 万枚 ( +9.1% )
下半期	6,139 万枚	6,291 万枚	5,625 万枚
	(基準年度比)	+152 万枚 ( +2.4% )	514 万枚 ( 8.4% )
	(前年度比)	+152 万枚 ( +2.4% )	666 万枚 ( 10.6% )